

東海村白バラ会の 選挙啓発活動



東海村白バラ会とは

明 るい選挙の推進を目的に、選挙啓発活動を行っているボランティア団体です。現在、会員は18人で、会員は随時募集しています。

白バラ会では、若者が多く参加する東海まつりや、はたちの集い、県立東海高等学校における「主権者教育」などを通して、若者に政治・選挙に関する持つてもらい、主体的に考えるきっかけづくりとなる活動をしています。



宇都宮 秀子さん
(東海村白バラ会会長)

「白バラ会」という名称は、白バラの持つ清純な感じが「明るい選挙」の目標の一つである「清潔さ」を象徴するものとして、国内で広く一般的に使われてきたことに由来します。

私たち「東海村白バラ会」も、選挙が明るく公正に行われるように啓発運動を推進し、民主政治の健全な発展の達成を目的として活動しています。また、お金のからない、きれいな選挙を実現するため、候補者等や有権者に対する「3ない運動（贈らない・求めない・受け取らない）」の徹底を呼び掛けています。

関心のある方は、ぜひ一緒に活動しませんか。お気軽にお問い合わせください。



東海村白バラ会による東海まつりや村内商業施設での選挙啓発活動



選挙で変わる。社会が変わる。 投票は、 明日への“かけはし”。託す“夢”!

【問い合わせ】総務課総務法制担当 ☎282-1711 内線1313

若者も

投票に行こう

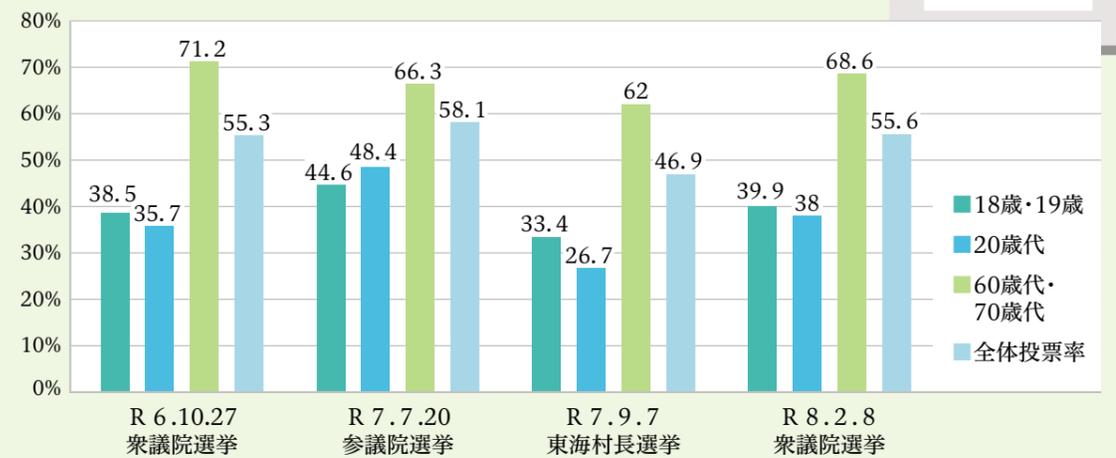
私 たちの生活・社会をよりよ
くして、将来に対する希望・
不安等に対応していくためには、
幅広い世代の一人ひとりが考えを
持つて、自らや地域の声を政治に
反映する住民の代表者を「選挙」
で選ぶことが大切です。

選

挙権年齢が「20歳以上」から
「18歳以上」に引き下げら
れてから10年がたちました。本
村における投票率も、国内の他
地域と同様に低下傾向にあり、
特に10歳代・20歳代の投票率は、
60歳代・70歳代と比べて半分程度
と、伸び悩んでいます。投票率
の向上や若い世代の政治選挙に
対する関心を高めることが大き
な課題になっています。



東海村の投票率の推移



東海高校での主権者教育(自発的な投票を促す教育)では、模擬投票を実施

